

アオスミヤキ



- 1 種名 スズキ目クロタチカマス科アオスミヤキ *Epinnula pacifica* (Ho, Chang and Shao, 2017)
- 2 測定結果 標準体長 318.3 mm
- 3 採集日 令和元年 7 月 14 日
- 4 採集場所 沖ノ鳥島 水深 410m
- 5 採集方法 底釣り
- 6 採集者 漁業調査指導船みやこ

本個体は沖ノ鳥島海域での底釣り調査中に採集した。従来、アオスミヤキの含まれる *Epinnula* 属には、*Epinnula magistralis* 1 種のみが存在し、カリブ海や南日本に分布するとされていた。しかし、2017 年の報告により、カリブ海周辺の個体と太平洋（日本、台湾、ハワイ）で採集された個体は別種であるとされ、日本のアオスミヤキは新種（*Epinnula pacifica*）とされた。なおアオスミヤキは、体高が高いこと、背鰭および臀鰭が長く鰭条数が多い点などで *Epinnula magistralis* と区別することができる。アオスミヤキは世界的に採集例が少なく、日本では高知県土佐湾、三重県尾鷲および紀伊長島、鹿児島奄美群島およびトカラ列島からの記録がある。東京都沖ノ鳥島海域では本個体が初の発見であり、非常に貴重な標本である。

- 参考文献 日本産魚類検索全種の同定第三版 中坊徹次編 東海大学出版
Ho, Motomura, Hata and Jiang (2017) Review of the fish genus *Epinnula* Poey (Perciformes: Gempylidae), with description of a new species from the Pacific Ocean. *Zootaxa*, 4363(3), 393-408.
Hata and Motomura (2016) First record of the snake mackerel *Epinnua magistralis* (Perciformes: Gempylidae) from the Tokara Islands, Japan. *Fauna Ryukyuan*, 30, 11-15.